

〔全体の評価講評：学童クラブ〕

令和6年度

《事業所名：清明小第1第2学童クラブ》

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	学校との連携が密に図れており、子どもたちが安全に安心して過ごせる場となっています
	内容	小学校内にある学童クラブであり、校長先生を始めとして担任や特別支援クラスの教諭など、学校との連携がたいへん密に図られています。夏休みなど暑く校庭に出られない際には体育館を貸してくれたり、学童クラブの避難訓練の際にも校内放送を使い不審者が学童に向かっての想定で放送を流してくれるなど、様々な協力を得ています。学童クラブ内で子どもたちのトラブルがあった際にも、担任などと情報を共有し、対応することができます。こうした連携を図るために、職員も先生方と円滑にコミュニケーションを取る努力を重ねています。
2	タイトル	保護者と職員がタッグを組みクラブを知ってもらうための取り組みをしています
	内容	学童クラブ運営理念の1つに、「子どもを中心に保護者と支援員がともに考え、共有しながら一緒に子育てする場を運営する」と掲げています。この理念の実現に向けて、4日間の開放日を設けたり、写真を多く掲載したお便りを定期的に発行するなど、子どもたちの様子を知ってもらうための取り組みを行っています。子どもたちが地域に出向いて買い物ツアーを行うイベントを企画して保護者にも参加を呼び掛けるなど、地域や保護者との連携にも努めています。その結果、小学校のPTA主催事業にクラブの子どもたちも招かれるなど、交流が図られています。
3	タイトル	特に配慮が必要な子どもたちに対しても、細やかな対応で一人ひとりの成長を援助しています
	内容	人と接することが苦手な子や音に過敏な子、外に飛び出してしまう子、言葉によるコミュニケーションが難しい子など、特に支援が必要な子どもたちも多く在籍しています。職員は常に人手不足であるという課題を持ちながらも、子どもたち一人ひとりに合った成長、発達を見守ることを大切にしています。毎月作業療法士も入って個別の支援計画を作成し、視覚に訴えかける掲示や、わかりやすい伝え方を工夫しています。違う友達と班が組めたことや言葉で気持ちを伝えられたことなど、少しの成長を認めて、クラブ全体で仲間意識が育つよう援助しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	役割と権限の具体的な範囲や責任についての明確化と共通認識が望まれます
	内容	役割と権限の明確化について、主任や支援員の役割分担が設定されており、それぞれの職務が円滑に遂行できるよう配慮されています。また、緊急時対応においても、役割や権限を示した分担表が掲示されており、職員が迅速な行動ができる体制が整っています。一方で、権限の具体的な範囲や責任についての認識が職員間で完全に共有されていない場合があり、意思決定や対応において曖昧さが生じることも課題として挙げられます。今後は、職員会議や研修を通じて役割と権限を再確認し、全職員が共通理解を持つことで、より効果的な組織運営が望まれます。
2	タイトル	目標管理制度や個別評価制度の導入により、組織全体のパフォーマンスの向上が期待されます
	内容	法人では、目標管理制度や個別評価制度が導入されておらず、現状では全員一律の昇給となっており、個々の職員の努力や成果が反映されにくい仕組みとなっています。目標管理制度を導入することで、職員一人ひとりが達成すべき目標を明確にし、自身の成長を可視化することができるようになります。また、個別評価制度を併用することで、職員の成果や貢献度を適切に評価し、処遇に反映することでさらなる意欲向上が見込まれます。これらの制度の導入により、職員間の公平性と透明性を高め、組織全体のパフォーマンスの向上が期待されます。
3	タイトル	新任職員が安心して成長できる環境の整備と仕組みづくりが望まれます
	内容	新任職員の育成において、現場での実践を重視したOJT(職場内訓練)の仕組みが求められています。新任職員がスムーズに業務に慣れるためには、経験豊富な職員が指導者として役割を担い、具体的な業務内容や対応方法を実地で指導する体制の整備が重要です。また、指導者自身が役割や指導内容を明確に理解し、計画的に育成を進める仕組みが必要です。さらに、新任職員が業務や環境に慣れる過程で抱える不安や疑問を解消できるよう、定期的な面談やフォローアップを行い、新任職員が安心して成長できる環境の整備と仕組みづくりが望まれます。